

豊見城市役所

業種：自治体
人口：6万5766人（令和7年6月末）
総面積：19.33km²



右から、デジタル推進課 課長の後間（こしま）大輔さん、DX推進班 班長の知花厳さん、DX推進班 主査の赤嶺貴一さん。記事では知花さんと赤嶺さんにお話をうかがいました。

応募用紙の手書き文字を読み取ってテキスト化。 手入力が不要になり業務効率がアップ

「PaperStream Capture Pro Premium」の導入で AI-OCR運用のスムーズスタートに成功

沖縄県の豊見城市役所では、毎年開催する「豊見城市男女共同参画に関するキャッチフレーズ・ポスター募集」にあたり、小・中・高等学校の児童・生徒が手書きしたキャッチフレーズ応募用紙約400枚を手入力でデータ化していましたが、手間を排して負担を軽減するために「PaperStream Capture Pro Premium」を導入し、応募用紙のイメージデータからテキストを抽出する運用を可能にしました。これは同ソフトウェアのAI-OCR機能を活用するもので、現在手入力しているさまざまな書類への活用が見込まれています。また、大きなコストをかけることなくAI-OCRを活用するための手段としても注目されます。同市役所を訪ね、詳しいお話をうかがいました。

- 課題** 児童・生徒が手書きした応募用紙約400枚の手入力に手間と時間がかかり、負担が大きかった。また、そうした負担を排除し業務効率を上げるためにAI-OCRソフトウェアの導入が望まれたが、コストの問題によりなかなか実現できなかった。
- 解決法** 有償のイメージキャプチャリングソフトウェア「PaperStream Capture Pro Premium」を導入。
- 効果** 「PaperStream Capture Pro Premium」のAI-OCR機能を活用することにより、AI-OCR運用のスムーズスタートに成功。応募用紙のOCR処理が可能になったほか、市役所内のさまざまな書類への活用も見込まれている。

児童・生徒が手書きしたキャッチフレーズを読み取り、テキストデータを抽出

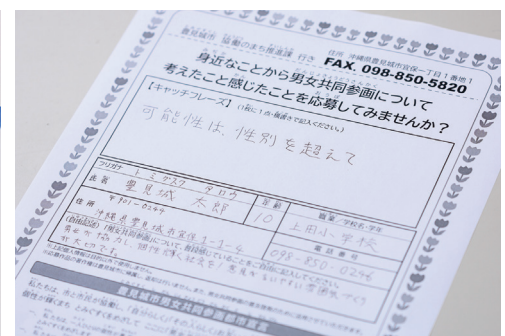
—— 豊見城市役所 企画部 デジタル推進課 DX推進班 班長の知花厳さんと、同じく主査の赤嶺貴一さんにお話をうかがいます。豊見城市では令和7年3月に有償のイメージキャプチャリングソフトウェア「PaperStream Capture Pro Premium」を導入されました。その目的をお聞かせください。

知花さん 本格的な運用はこれからですが、直接の目的は市民部 協働のまち推進課の要望に応えるためです。

赤嶺さん 協働のまち推進課では年に1回、「豊見城市男女共同参画に関するキャッチフレーズ・ポスター募集」を行っており、キャッチフレーズは毎年約600件が集まります。そのうち約200件はWeb経由の一般

応募ですが、残りの約400件は市内の小・中・高等学校の児童・生徒が応募用紙に手書きしたものです。同課では従来、この応募用紙400枚の記載内容を、審査用に手入力でデータ化していました。この作業に手間がかかって負担が大きいため、AI-OCRで読み取れないだろうかという相談が同課から当班に寄せられました。

応募用紙。サイズはA4で、キャッチフレーズ・氏名・年齢・学校名などの記入欄と、自由記述欄が設けられています。400枚が集まるとかなりのボリュームになります。



複合機で用紙をイメージデータ化し、「ファイルインポート」機能でOCR処理。 スモールスタートでAI-OCRを活用できる、最良の現実的選択肢

——「PaperStream Capture Pro Premium」を導入するまでの経緯をお聞かせください。

赤嶺さん 協働のまち推進課から相談があったのは令和5年です。当時、当班ではAI-OCR導入の必要性を感じ、高機能AI-OCRソフトウェアの試用を開始していました。それを用いて応募用紙を読み取ってみたところうまくいき、令和5年度・6年度は協働のまち推進課の要望に応えることができました。ただ残念ながら予算の都合により、高機能AI-OCRソフトウェアの導入は実現しませんでした。

赤嶺さん 一方、「PaperStream Capture Pro Premium」は導入にかかる費用が比較的小さく、スモールスタートでAI-OCRの恩恵を得ることができます。令和7年1月にPFUから「PaperStream Capture Pro Premium」のリリースを受け取り、すぐに「これならコスト要件を満たせるのでは」と思いました。

知花さん そこで、さっそく「PaperStream Capture Pro Premium」の無償評価版を試用したところ、読み取り箇所が100までという制限はありますが、精度に関しては期待通りの出力を得ることができました。

赤嶺さん 少なくとも応募用紙の読み取りに関しては、過去に試用したAI-OCRソフトウェアと比較してもほとんど遜色がないとわかったので、急ぎ足で導入しました。スモールスタートという条件下、最良の現実的選択肢だったと思います。

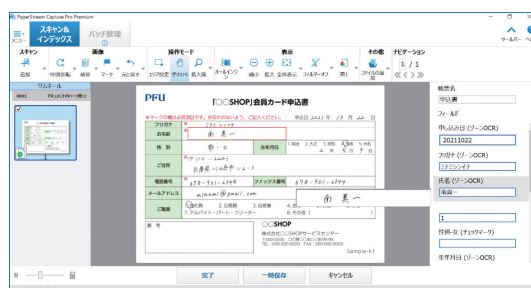
——キャッチフレーズ応募用紙読み取りのフローを教えてください。

知花さん 市内にある小学校8校、中学校4校、高等学校3校の児童・生徒の方々にキャッチフレーズの発案をお願いしており、その結果が400枚の紙として市役所に集約されます。それを複合機でスキャンしてPDFファイルにします。

——そのPDFを「PaperStream Capture Pro Premium」の「ファイルインポート」機能で読み込み、抽出したテキストをCSVファイルで出力するのですね。「PaperStream Capture Pro Premium」無償評価版で読み取った際の精度はいかがでしたか。

知花さん 小学生の字にはくせが強いものが多いので、90パーセントには達していないと思います。

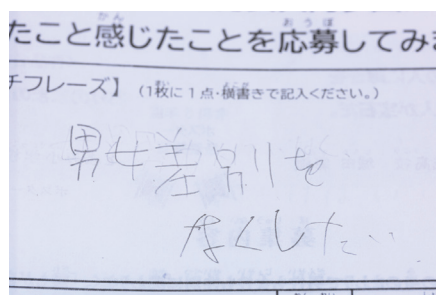
赤嶺さん 消しゴムをかけた上から鉛筆で書き直しているものなどは、紙の汚れが読み取りの邪魔をする場合があります。私の体感では80パーセント強というところでしょう。もちろん、20パーセント



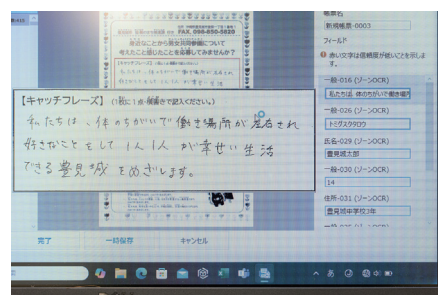
「PaperStream Capture Pro Premium」は手書き文字・活字・バーコード・チェックマークなどを認識し、さまざまなデータ抽出に対応しています。データ抽出は1帳票あたり100項目まで指定できます。



「PaperStream Capture Pro Premium」は、PFU製品以外のシステムやスキャナーで生成されたイメージデータも取り込める「ファイルインポート」機能を搭載しています。



消しゴムをかけた上から書き込んだ例。こうした原稿も含めて、読み取り精度は体感で80パーセントを超えているといいます。



「PaperStream Capture Pro Premium」の読み取り結果確認画面より。画面上でイメージデータと照合し、簡単に修正できます。

弱の修正をしたとしても、手入力に比べればはるかに効率的です。

——OCR処理により、どのくらいの効率化が実現するのでしょうか。

赤嶺さん 手分けして毎日少しずつ手入力していたものが、正味一日か二日で確認と修正まで終わらせるようになるはずですよ。AI-OCRソフトウェア試用時の実績では、複数人によるダブルチェックを除き、直接の担当者が一人ですべてを済ませられたと聞いています。

——キャッチフレーズ応募用紙のほかにも、今後「PaperStream Capture Pro Premium」で読み取る対象になり得る書類はありますか。

知花さん 企画調整課が行う市民意識調査の回答用紙、税務課が扱う償却資産申告の書類などが候補として考えられます。ほかにも各課に詳しく話を聞けば、「PaperStream Capture Pro Premium」の活用で入力作業を効率化できる書類が必ず出てくるはずですよ。

